

2年次で「出前授業」を実施しました。

◆今回の記事は、2年次主任の大村先生（理科担当）が書いてくれました。

9月25日（月）の5・6校時目に、2年次生（9回生）対象に**出前授業**が実施されました。この授業は、「サイエンスQ」という筑波研究学園都市交流協議会（筑協）が小中学校で実施している科学技術の出前授業です。しかも、この様子は収録され「ラヂオつくば」を通じて全世界に発信されるということです。

今回の講師の先生は、**産業技術総合研究所幹細胞工学研究センター**の伊藤弓弦先生でした。「**再生医療研究を支えるカエルたち！**」というテーマで授業を行っていただきました。9回生の中に、将来医者になりたいという夢を持っている生徒も多いために、本出前授業を企画しました。

両生類モデル生物の**アフリカツメガエル**や、高再生能を有する**イモリ**を実物を見せながら、再生医療の研究やその研究にどうそれらの動物が使われているのか、**iPs細胞の実用化**についてなど詳しく解説してくださいました。

身近なイモリやカエルから最先端の研究の話まで、難しい内容を中学生にわかりやすく話をしていただき、医療分野に興味を持った生徒もいたようです。講話の途中で、実際にアフリカツメガエルやイモリを**さわったり、観察したり**することができました。イモリの魅力にとりつかれ、家で飼いたいという生徒まで出ました。伊藤先生の講義のあと、**30分ほど質問タイム**を設けましたが、**次から次へと質問が出てきて、大いに盛り上がり**、質問したい生徒たち全員をあてることはできませんでした。まさに、9回生の姿は「**アクティブラーナー（能動的学習者）**」でした。

